



関西SDGsプラットフォーム

入 会 方 法

入会手続きは関西SDGsプラットフォームのホームページの「各種お申込み」より行っていただけます。
入会費・年会費は無料です。

お 問 い 合 わ せ

関西SDGsプラットフォーム事務局
独立行政法人国際協力機構関西センター（JICA関西）内

E-mail kansai_sdgs_platform@jica.go.jp

F A X 078-261-0357

お問い合わせは、メールかファックスでお願いいたします。



関西SDGsプラットフォーム

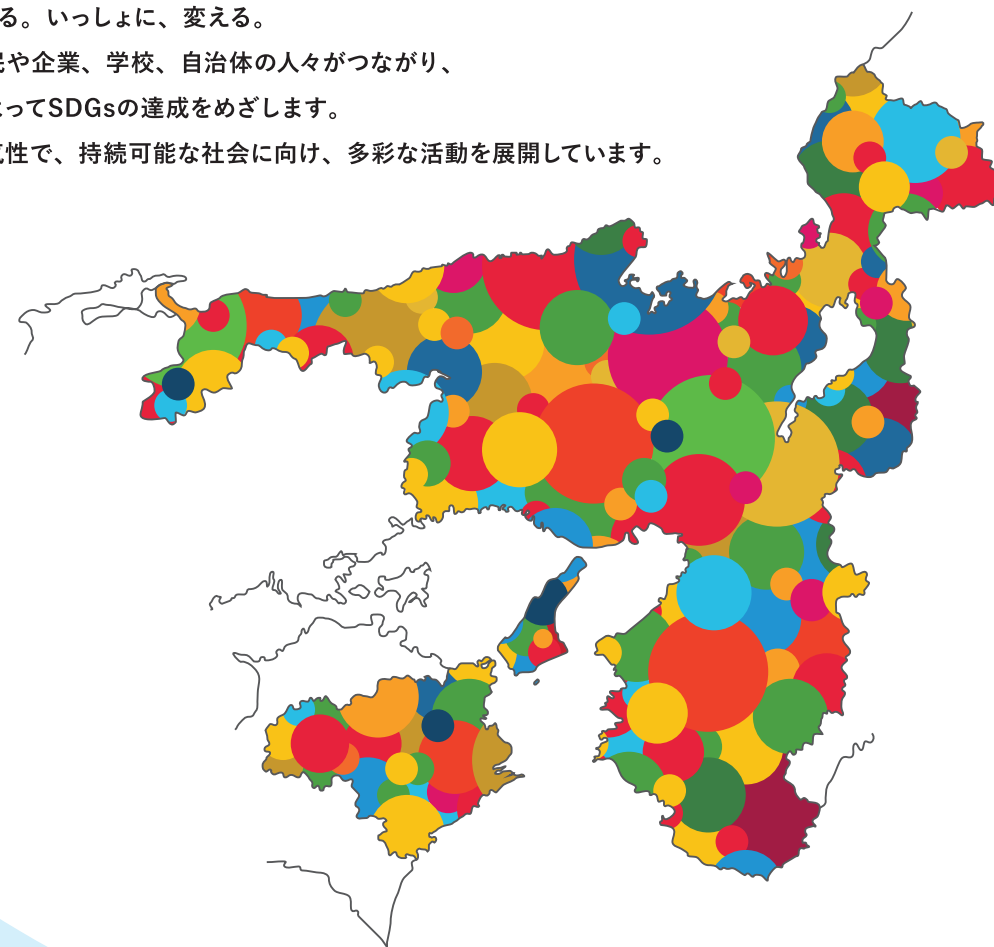
Kansaiから、かわる。

Realizing a sustainable society for Kansai, for Japan, for the world.

Kansaiから、かわる。いっしょに、変える。

そんな想いで、市民や企業、学校、自治体の人々がつながり、
お互いの力を持ちよってSDGsの達成をめざします。

関西らしい進取の気性で、持続可能な社会に向け、多彩な活動を展開しています。



私たちが暮らす現代は、気候変動、自然災害、感染症、紛争など、地球規模の課題が経済・環境および社会に重大な影響を及ぼしています。さらに、急速に進む都市化や高齢化など、新しく顕在化した課題もあります。こうした課題が山積する中、国際社会の協調した取り組みの必要性が強く認識されています。

こうした中、2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」が開催され、成果文書として「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals：SDGs)はその一部であり、17のゴール(目標)と169のターゲットが掲げられています。キーワードは「誰一人取り残さない(leave no one behind)」です。

関西SDGsプラットフォームとは？

設立背景

SDGsの達成に向けて、関西の民間企業、市民社会・NPO・NGO、大学・研究機関、自治体・政府機関といった、多様な主体が参加するプラットフォームとして2017年12月に設立されました。SDGs達成には民間の技術・知見・資金の活用が不可欠であり、これを含めた数々の活動体を相互に結びつけることで、持続可能な社会の構築に向けた新たな取り組みを創出し、イノベーションを起こすことができるのではないかと考えから、「関西SDGsプラットフォーム」の構想が生まれました。

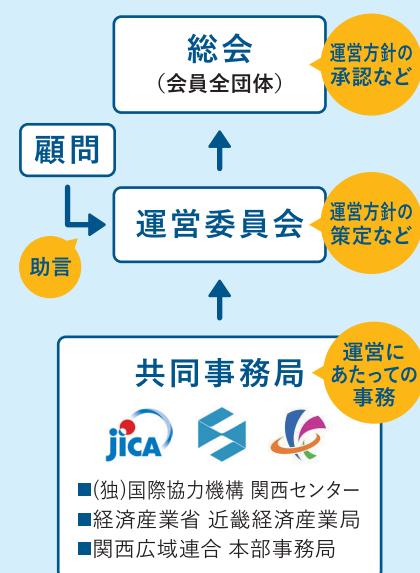
設立目的

本プラットフォームは、

- (1)SDGsへの取組みが、関西の民間企業、市民社会・NPO・NGO、大学・研究機関、自治体・政府機関、すべての人々にとって、重要であることを広くアピールするとともに、
- (2)各ステークホルダーの連携と協働により、関西において持続可能な社会の構築に向けた活動や高い社会的価値を生み出す経済活動を加速していくことを目的としています。



運営体制



運営委員会 委員

役職	組織名	氏名
運営委員長	公益社団法人 関西経済連合会	理事・国際部長 井上剛志 氏
	大阪商工会議所	国際部長 松本敬介 氏
	一般社団法人 関西経済同友会	企画調査部課長 木津光明 氏
	公益財団法人 関西・大阪21世紀協会	エグゼクティブ・マネージャー 木村明則 氏
	認定NPO法人 環境市民	代表理事 校本育生 氏
運営委員	特定非営利活動法人 関西NGO協議会	副代表理事 熱田典子 氏
	国立大学法人 大阪大学	理事・副学長 河原源太 氏
	国立大学法人 神戸大学	学長補佐 喜多隆 氏
	学校法人 立命館	常務理事 山下範久 氏
	関西広域連合	本部事務局長 山下芳弘 氏

2021年4月1日時点

推進宣言

私たちは、2015年9月に国連で採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が、途上国と先進国を含む全世界及びここ関西にとって、重要な行動計画であることを強く認識し、経済・社会・環境を調和させ、持続可能で強靱、そして誰一人置き去りにしない、一人ひとりが能力を発揮できる社会を構築していくことを決意します。

私たちは、このアジェンダの精神に則り、人間と地球を中心に据えた原則や価値観に基づく包摂的パートナーシップを、ここ関西を中心とした市民、企業、大学、自治体など多くの関係者の協力を得て、強化することを決意します。

これら決意の下、関西のため、日本のため、そして世界のため、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた多様な活動を促す「関西SDGsプラットフォーム」を本日設立し、持続可能な社会の実現に関西より推進していくことをここに宣言します。

2017年12月16日

活動内容

知る

Webサイトやメールマガジンを通じたイベント情報やニュースの提供、イベントの独自開催、アンケート調査等を行っています。また、会員が開催するイベントへの講師紹介や後援も行っています。SDGsの重要性をアピールし、一步を踏み出す後押しをしています。

深める

分科会は、共通の問題意識を持つ会員の発意に基づいて設置され、独自に定められた目標と計画に沿って活動が行われています。多様な業種のアクターが交流することで議論が深まり、新たな事業やイベントが生まれています。

つながる

パートナーシップの促進を目指して、会員の交流の場を提供しています。ホームページに設けた「共創スペース」は、新たなプロジェクトや課題解決のための協力者を募る場として活用頂けます。



分科会活動

関西SDGsプラットフォームでは会員による具体的な活動を奨励しています。会員が直面している社会課題への取り組みを通じ、特定のゴールの達成に貢献すべく、様々な分科会が結成されています。2021年4月時点で、ビジネス、環境、教育などの合計7つの分科会が立ち上がっており、会員同士、あるいは会員以外をも巻き込んだ活動が進んでいます。



- 関西SDGs貢献ビジネスネットワーク
- SDGs環境ビジネス分科会
- 共育分科会
- 食品ロス削減分科会「ZERO FOOD WASTE」

- 教育分科会「SDGsナレッジラボ」
- バリアフリーマップ分科会
- 大学分科会



分科会は会員の発意で設立、運営されています。一緒に始めてみませんか？